

東京大学の学長といえ  
ば、日本学術界の最高峰  
であり、お堅いイメージ  
が強いかもしれないが、  
4月に新学長になった藤  
井輝夫さんは高校時代、  
ロックバンドに明け暮れ  
て浪人し、大学時代も成  
績は低空飛行だった。そ  
れでもトップに上り詰め  
たのは、興味のあること  
を見つけて、とことんめ  
り込む姿勢を貫いてきた  
ためだ。

母校の麻布高校は自  
由な校風で知られる  
が、藤井さんの自由度  
は突出していた。

中学時代、英国のロッ  
クバンド、クイーンに憧  
れ、ギターを手にした。  
高校では麻布ミュージッ  
クハウスというバンドサ  
ークルの部長。学園祭は  
もちろん、新宿や渋谷の  
ライブハウスでも演奏し  
た。水泳部の主将も務め  
ていたから忙しかった。  
学業はそっちのけ、成績  
は下から数える方が早か  
った。当然のように東大  
受験に失敗した。

1年浪人して東大へ。  
麻布時代の友人たちとバ  
ンドを続けた。バンドと  
並んで時間を割いたのが  
スキューバダイビングだ。  
東大海洋研究会とい  
うサークルに入り、西表  
島、小笠原諸島、慶良間  
諸島などに遠征した。  
高校時代は水泳部、大  
学でダイビングと、昔か

# とことんのめり込もう

ら海に対する憧れが強か  
った。エンジンアだった  
父親の影響もあり、技術  
を活用すれば海の中で何  
ができるようになるの  
か、知りたかった。

専門課程に進む時、  
船舶工学科を選んだ。  
もともと海中工学に関  
心があったうえ、この  
年から海洋工学コース  
ができたためだ。

実は船舶工学科は学生  
に人気がなく、成績が悪  
くても、すんなり進めた。  
実際に海中工学を学び始  
めて気づいたのは、高校  
時代に数学で学んだ線形  
代数や行列が役に立った  
こと。船舶の自動制御技  
術などに不可欠な概念だ  
った。

高校時代から海中工学  
への関心はあったから、  
当時の数学の勉強が将  
来、役に立つと知ってい  
れば、もっと気合を入れ

## 海への好奇心 研究の入口に



藤井輝夫さんはこんな人

- 1964年生まれ、中学から麻布へ。麻布高校時代はバンド演奏に精を出し(写真)、成績は下から数えた方が早かった。1年浪人して東京大学へ
- 東大ではバンドのほか、スキューバダイビングに熱中。専門課程で浦環助教授と出会い、人生の転機に。無人潜水艇で博士号を取ると決意
- 寄付研究部門の助教授になるがバブル崩壊で講座がなくなり、いわゆるポストクも経験。生産技術研究所の教授、総長補佐、副学長などを歴任

て勉強したのと思っ  
た。人生、後になって何  
が役に立つかわからな  
い。だから今、目の前の  
ことをしっかりとやろうと  
思うようになった。

転機になったのが、浦  
環助教授(当時)との出  
会いだ。六本木にある生  
産技術研究所に通い、無  
人潜水艇の研究に没頭し  
た。大学院に進み、無人  
潜水艇の研究で博士課程  
までやろうと決意した。

博士号を取得し、大手  
企業が支援する研究所の  
客員助教授になったが、  
順風だった人生が暗転す  
る。バブルが崩壊、企業

「コラム「先輩に聞く」  
は随時掲載します。」

の支援が打ち切られた。  
仕方なく、これまで縁の  
なかつた理化学研究所の  
任期制研究職、いわゆる  
ポストクに採用された。  
バイオテクノロジーな  
ど初めての研究分野に取  
り組んだ。周りはバイオ  
研究のプロばかり、自分  
はいわば素人だ。一方で  
バックグラウンドが違う  
から、同じ実験をしてい  
ても違う視点で分析でき  
るの強みだった。経歴  
や知識の違いが様々な見  
方や意見を生む。まさに  
多様性、ダイバーシテイ  
ーだと思った。  
人生、逆境の時もある。  
それでも置かれた場所で  
興味のあることに、とこ  
とんのめり込めば乗り越  
えることができる。

## 好きなこと 苦にならず

藤井氏は麻布、東大に  
在学中、バンドに水泳、  
ダイビングと好きなこと  
に熱中した。大学時代、  
オペーションという米國  
製のギターがどうしても  
欲しくて、ロサンゼルス  
まで買いに行った。旅費  
も含めて多額の出費にな  
るので、自家用車を持ち  
込み、宅配便のアルバイ  
トに精を出した。好きな  
ことのためだから、アル  
バイトも苦にならなかつ  
た。  
好きなことにのめり込  
む。「それができる環境  
が与えられていたのは幸  
運だった。両親も教師た  
ちも放任してくれた」と  
藤井氏は振り返る。高校  
時代、大学時代という限  
られた時間の中、楽しい  
と思つて見つけ、とこ  
とんやる。これが藤井  
氏の若い世代に向けたメ  
ッセージだ。  
(編集委員 鈴木亮)



東京大学学長  
藤井輝夫さん

就活の関連情報はこちらへ  
18歳プラス面では就職  
活動中の大学生の疑問や不安に  
こたえる記事を掲載し  
ています。関連情報を電子メ  
ールnikkei048@nex2.n  
ikkei.co.jpへお寄せください。